

7月1日、土曜授業にお越しください！

6月26日(月)～7月2日(日)は「長崎っ子の心を見つめる教育週間」として取り組んでいます。その一環として7月1日(土)は土曜授業を開催します。当日は「道徳科」の授業参観(命の大切さを考える授業)・学年懇談会を予定していますが、その後に「土井首中学校ルールを考える会」を各学級単位で実施する予定です。これまでは学校主導で決められてきた印象の強い「校則」。令和6年度に向けて、生徒・保護者の意見も参考にしたルールへと見直しを検討しています。是非、ご参加ください。

～校長のつぶやき～ 認知能力と非認知能力

人間の能力は、「認知能力」と「非認知能力」に分かれるといわれています。

「認知能力」というのは、これまで人類が長い時間をかけて積み上げてきた様々な知識を自分の中に取り込んで得られる能力です。もう少しわかりやすく言うと、皆さんが学校で先生方から教えてもらい、自分の頭の中に入れようとしている勉強のことです。先週末に行われた1学期期末テストは、皆さん一人一人の認知能力がどれくらい高まったか確かめるものと考えられます。

一方で「非認知能力」というのは、例えば、いろんなことに挑戦してみようとする「やる気」や、苦しい時にも負けない「がまん強さ」、周りの人とよい関係を築くことができる「協調性」などです。これらはすべて、皆さんが学校をでて社会で活躍するときにとっても大事な能力になりますが、非認知能力の特徴は、教えられないということです。非認知能力はそのすべてが、自分で意識して鍛える必要があるのです。

アメリカで、子どもがおやつを目の前にして、食べるのを我慢できるかどうか観察した実験をしたところ、我慢していた子供は我慢できなかった子供に比べて、社会的に成長が見られたそうです。

大切なことは「心の持ちよう」と言われています。辛いことがあっても、みんな頑張っているとか、自分なりにいろいろな理屈をつけて心の持ちようを変えていくと自分の心をコントロールする力や忍耐力が育っていくのです。トップアスリートと言われるようなプロスポーツ選手は、この「非認知能力」が一般の人よりもかなり優れていると言われています。

さて、皆さん。皆さん一人一人にただ一つだけ与えられた命。この命をどう輝かせるかは自分次第です。自分の未来に夢や希望を持ち、それをかなえるために非認知能力を鍛えてみませんか。

今日から始まる「心を見つめる教育週間」の中で、自分自身と向き合って考えてほしいと思います。

(6月26日 長崎っ子の心を見つめる教育週間に
あたったの校長講話より抜粋)

自分の明るい未来のために、「やる気」、「がまん強さ」、「協調性」などを自ら意識して鍛える、そんな自律した人間でありたいものです。

